

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名 (担当形態)	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52311	保育内容と指導法の総合演習Ⅰ (こどもまつりⅠ) Event Management: "Children's Festival" Ⅰ	全教員	専門	1	必修	1年前期
<b>科目の概要</b>						
「こどもまつり」は、前期から計画を立て、準備し、秋に地域の子どもたちを本学キャンパスへ招いて、保育の実践を行なう活動である。保育内容と指導法の総合演習Ⅱ(こどもまつりⅡ)を履修している2年生とともに取り組む。幼児教育を目指す学生にとって、何よりも求められるのは保育を実践していく力である。実習もその貴重な経験だが、「こどもまつり」は社会全体の課題を視野に入れた保育観の形成と、実際の保育の企画・立案・準備・運営のすべてに至る経験的な学びを修得することを目的としている。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 行事の準備・実施・評価のプロセスを学ぶ。 ② 実際の保育の「企画・立案」の方法に学ぶ。 ③ 保育における「準備」のプロセスを学ぶ。 ④ 保育における「運営」の方法を学ぶ。 ⑤ こどもまつりの「振り返り」を行い、課題を見つける。			① 行事の準備・実施・評価のプロセスが理解できる ② 主体的に企画・立案に参加できる。 ③ 協力しあいながら企画の準備を進めることができる。 ④ 地域の方々に対して心のかかわりができる。 ⑤ 振り返りを通して、来年度に向けての課題が発見できる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	各企画の計画をもとに、「主体性」を持って積極的に作業に取り組むことができる。片付けなども自分から進んで行うことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	期限までに、こどもまつりに必要な物を積極的に完成させることができる。				
考え抜く力	課題発見力	創造的な創作活動を進めるなかで、自ら「課題を発見」し、解決策を考えることができる。				
	計画力	期限までに完成できるよう計画を立てることができる。				
	創造力	固定概念に捉われないで、企画別活動をすることができる。				
チームで働く力	発信力	「わからないこと」や「意見」があれば、2年生に理解してもらえるように分かり易くそのことを伝えることができる。				
	傾聴力	人の話に耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力	自分の役割を考え協力することができる。				
	規律性	学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト: 今までの先輩がこどもまつりの準備のために作成した書類・準備作業の様子・当日の様子を撮影した写真などを参考にする。 参考文献: 保育所保育指針・幼稚園教育要領						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連: 保育内容(環境)、児童文化、保育内容(表現)、保育内容(言葉)、保育内容(健康)、幼児表現(造形Ⅰ・Ⅱ) 幼児表現(音楽Ⅰ・Ⅱ)、幼児と健康Ⅰ・Ⅱなど 資格との関連: 保育士・幼稚園教諭二種免許						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
毎回の作業(企画・立案・準備など)が円滑に進むよう、授業時間外においても、学生同士で十分に連絡をとり合い、綿密な計画を立てるようにすること。			・2年生との連携に留意すること。 ・各実行グループで、作業計画に対して遅れがないか確認し、進めること。 ・必要があれば、その都度補完的に作業を行うこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	40	① ✓ ② ③ ④ ⑤ ✓	「こどもまつり」の VTR を見て、こどもまつりの位置づけが理解できているかを評価する。(4月、10点) 「振り返り」のためのレポートにおいては、来年度に向けての課題を自分なりに文章でわかりやすく伝えられているかを評価する。(10月、30点) わかりやすく自分なりの文章で
成果発表 (口頭・実技)	30	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	こどもまつり当日の運営に主体的にかかわる。 (クラス企画や表現企画、係り活動で決められた時間に集合すること) 自分の活動内容を理解し、臨機応変に対処できる )
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	(主体性) ・各企画の計画をもとに、「主体性」を持って積極的に作業に取り組むことができる。 ・片付けなども自分から進んで行うことができる。 (実行力) ・期限までに、こどもまつりに必要な物を積極的に完成させることができる。 (課題発見力) ・創造的な創作活動を進めるなかで、自ら「課題を発見」し、解決策を考えることができる。 (計画力) ・期限までに完成できるよう計画を立てることができる。 (創造力) ・固定概念に捉われないで、企画別活動をすることができる。 (発信力) ・「わからないこと」や「意見」があれば、2年生に理解してもらえるように分かり易くそのことを伝えることができる。 (傾聴力) ・人の話に耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。 (規律性) ・学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
その他	30	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	・こどもまつり前日までのクラス企画や係り活動に出席すること。 ・許可されていないときのスマートフォンの使用や飲食を行った場合は減点する。 ・欠席した場合は、教員が提示した課題を行うこと ・こどもまつり二役会や総務委員会で決定した事項について、基本的に従うこと。 もし、異議申し立てがある場合は二役会及び総務委員会に伝えること。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① 行事の準備・実施・評価のプロセスが理解した上で展開できる ② 行事のプロセスを理解しながら、主体的に企画・立案に参加できる。 ③ 他のグループと協力しあいながら企画の準備を進行できる ④ 地域の方々に対して心のこもったかわりができる。 ⑤ 振り返りを通して、来年度に向けての課題が発見できる。	① 行事の準備・実施・評価のプロセスが理解できる ② 主体的に企画・立案に参加できる。 ③ 協力しあいながら企画の準備を進行できる。 ④ 子どもに対して心のこもったかわりができる。 ⑤ 振り返りを通して、来年度に向けての課題が発見できる。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	【全体会】 ・オリエンテーション(基本方針・スケジュール・組織と役割、注意事項)を行う ・昨年度の編集記録を視聴する ・レポート作成	講義(VTR)  レポート作成	①こどもまつりの意義・位置づけが理解できる ②今年度のこどもまつりの概要が理解できる	(予習)こどもまつりのシラバスを読む。 (復習)こどもまつりの概要を整理する	180	主体性 計画力 傾聴力
2週 /	【1年クラス別】 ・総務委員を選出する ・全員の役割分担を検討する 【クラス別活動縦割り】 ・役員紹介 ・テーマ案を検討する	演習	①担当する役割について理解できる。 ②テーマ検討時に参加できる。	(予習)こどもまつりで担当したい役割を考える (復習)こどもまつりで担当する役割を整理する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
3週 /	【全体会】 ・基本計画案決定・テーマ選定・パンフレットのイラスト募集を行う。 【企画別活動】 ・遊びの分類や配置図の説明を受ける。 ・内容・企画別実施計画案の検討する	演習	①テーマ選定に参加できる ②配置された教室の配置するルールが理解できる ③実施計画案の検討に参加できる。	(予習) 候補に挙げたテーマを確認する (復習) パンフレットのイラストを作成する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
4週 /	【全体会】 ・正式テーマを発表する。 ・制作の注意点を確認する。 【企画別活動】 ・内容・企画別実施計画案の検討をする。他企画との調整を行い、提出する	演習	①正式テーマが理解できる ②実施計画案の検討に参加できる	(予習) 3週で作成した実施計画案を確認する。 (復習) 作成した実施計画案を確認する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
5週 /	【企画別活動】 ・準備作業計画(計画図・年間スケジュール)作成 ・購入物詳細を検討する	演習	①こどもまつり当日までに担当する企画の計画立案に参加できる。 ②担当する企画の必要物品が理解できる。	(復習) 担当する企画の計画と必要物品を確認する。	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
6週 /	【企画別活動】 ・準備作業を行う	演習	作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所が把握できる	(予習) 企画別活動に必要な物品を用意する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
7週 /	【企画別活動】 ・準備作業を行う	演習	作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所が把握できる	(予習) 企画別活動に必要な物品を用意する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
8週 /	【企画別活動】 ・準備作業を行う。 ・導入及び表現企画の中間発表	演習  中間発表後にフィードバックを行う。	①作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所が把握できる ②中間発表の良かったところ、改善が必要などところを挙げることができる	(予習) ①企画別活動に必要な物品を用意する ②中間発表のための準備をする。 (復習) ①中間発表の良かったところ、改善が必要などところを挙げる	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /	【企画別活動】 ・準備作業を行う	演習	作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所が把握できる	(予習) 企画別活動に必要な物品を用意する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力
10週 /	【全体会】 ・こどもまつりの前日・当日の流れについて、説明する。 【企画別活動】 ・準備作業を行う。	演習	①前日・当日の流れが把握できる。 ②作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所が把握できる	(予習) 企画別活動に必要な物品を用意する (復習) こどもまつりの前日・当日の流れを確認する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力
11週 /	【全体】 ・リハーサル(総練習)を行う	演習	①リハーサルの良かったところ、改善が必要なところを挙げることができる ②担当する活動以外の企画について、理解できる	(復習) ①リハーサルの良かったところ、改善が必要なところを挙げる	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力
12週 /	【企画別活動】 ・準備作業を行う	演習	作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所が把握できる	(予習) 企画別活動に必要な物品を用意する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力
13週 /	こどもまつりの前日準備を行う	演習	①当日、子どもに遊びを提供できるようになる	(予習) 前日の流れを確認する。	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力
14週 /	こどもまつりの当日の運営を行う	演習	①こどもまつりに来場された子どもに遊びを提供することができる ②担当する役割を遂行できる	(予習) 当日の動きを確認する。 (復習) 当日の動きを振り返る。	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力 状況把握力
15週 /	【企画別活動・全体会】 ・企画ごとに振り返りを行う ・レポートを作成する	演習	①こどもまつりの活動を通して、良かったところや反省すべき点を挙げる。	(予習) こどもまつりの活動を振り返っておく。	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名 (担当形態)	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52312	保育内容と指導法の総合演習Ⅱ (こどもまつりⅡ) Event Management: "Children's Festival" Ⅱ	全教員	専門	1	必修	2年前期
<b>科目の概要</b>						
1年生で関わった「こどもまつり」を、Ⅱでは、組織の中心となって、企画立案、準備計画の作成と実施を行う。また、保育実践のまとめとして、保育内容と照らし合わせながら取り組むことによって、これからの保育観を個々の学生が探るプロセスとしても位置づける。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 保育者同士の指導方法を経験的に学ぶ。 ② 実際の保育の「企画・立案」を経験的に学ぶ。 ③ 保育における「準備」をするにあたって、グループメンバー間の調整方法を学ぶ。 ④ 保育における「運営」を経験的に学ぶ。 ⑤ こどもまつりの「振り返り」を行い、理想の保育者に向けての課題を見つける。			① 保育者同士の指導方法が理解できる ② リーダーシップを発揮して、企画・立案に参加できる。 ③ グループメンバーの調整を図りながら、企画の準備を進めることができる。 ④ 地域の方々に対して心のこもったかわちが主体的にできる。 ⑤ 振り返りを通して、理想の保育者に向けての課題が発見できる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	各企画の計画をもとに、「主体性」を持って積極的に作業に取り組むことができる。片付けなども自分から進んで行うことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	期限までに、こどもまつりに必要な物を積極的に完成させることができる。				
考え抜く力	課題発見力	創造的な創作活動を進めるなかで、自ら「課題を発見」し、解決策を考えることができる。				
	計画力	期限までに完成できるよう計画を立てることができる。				
	創造力	固定概念に捉われないで、企画別活動をすることができる。				
チームで働く力	発信力	今までの先輩がこどもまつりの準備のために作成した書類・準備作業の様子・当日の様子を撮影した写真などを用いて、1年生に理解してもらえるように分かり易く伝えることができる。				
	傾聴力	人の話こ耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力	自分の役割を考え協力することができる。				
	規律性	学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ること				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト: 今までの先輩がこどもまつりの準備のために作成した書類・準備作業の様子・当日の様子を撮影した写真などを参考にする。 参考文献: 保育所保育指針・幼稚園教育要領						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連: 保育内容(環境)、児童文化、保育内容(表現)、保育内容(言葉)、保育内容(健康)、保育内容(人間関係)、幼児表現(造形Ⅰ・Ⅱ)、幼児表現(音楽Ⅰ・Ⅱ)、幼児と健康Ⅰ・Ⅱなど 資格との関連: 保育士・幼稚園教諭二種免許						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
毎回の作業(企画・立案・準備など)が円滑に進むよう、授業時間外においても、学生同士で十分に連絡をとり合い、綿密な計画を立てるようにすること。			・2年生および1年生との連携に留意すること。 ・各実行グループで、作業計画に対して遅れがないか確認し、進めること。 ・必要があれば、その都度補完的に作業を行うこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	40	①	✓	「こどもまつり」のVTRや1年次に作成したレポートを見て、こどもまつりのリーダーとして動くということが理解できているかを評価する。(4月、10点) 「振り返り」のためのレポートにおいては、理想の保育者に向けての課題をわかりやすく自分なりの文章で伝えられているかを評価する。(10月、30点)
		②		
		③		
		④		
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	こどもまつり当日の運営および状況を把握した上で、主体的に子どもに関わることができる。1年生の活動を見守りながら自覚を持ち、行動ができる。(クラス企画や表現企画、係り活動で決められた時間に集合すること自分の活動内容を理解し、臨機応変に対処できる )
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・各企画の計画をもとに、「主体性」を持って積極的に作業に取り組むことができる。・片付けなども自分から進んで行うことができる。 (実行力) ・期限までに、こどもまつりに必要な物を積極的に完成させることができる。 (課題発見力) ・創造的な創作活動を進めるなかで、自ら「課題を発見」し、解決策を考えることができる。 (計画力) ・期限までに完成できるよう計画を立てることができる。 (創造力) ・固定概念に捉われないで、企画別活動をすることができる。 (発信力) ・「わからないこと」や「意見」があれば、2年生に理解してもらえるように分かり易くそのことを伝えることができる。 (傾聴力) ・人の話に耳を傾けて聴いたり自分の思いや考えたことを言葉にして伝えたりすることができる。 (規律性) ・学修意欲欠如、遅刻、無断欠席、提出物の未提出など、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他	30	①	✓	・こどもまつり前日までのクラス企画や係り活動に出席すること。 ・許可されていないときのスマートフォンの使用や飲食を行ったりした場合は減点する。 ・欠席した場合は、教員が提示した課題を行うこと ・こどもまつり二役会や総務委員会で決定した事項について、基本的に従うこと。もし、異議申し立てがある場合は二役会及び総務委員会に伝えること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① 保育者同士の指導方法が理解した上で、実践できる	① 保育者同士の指導方法が理解できる
② リーダーシップを発揮して、企画・立案が積極的に参加できる。	② 保育者の先輩として、企画・立案に参加できる。
③ グループメンバー及び他のグループメンバーとの調整を図りながら、企画の準備を進めることができる。	③ グループメンバーの様子を見ながら、企画の準備を進めることができる。
④ 地域の方々に対して心のこもったかわりが主体的にできる。	④ 子どもに対して心のこもったかわりが主体的にできる。
⑤ 振り返りを通して、理想の保育者に向けての課題が発見できる。	⑤ 振り返りを通して、理想の保育者に向けての課題が発見できる。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	【全体会】 ・オリエンテーション(基本方針・スケジュール・組織と役割、注意事項)を行う ・昨年度の編集記録を視聴する	講義(VTR)  レポート作成	①2年生としてのこどもまつりの意義・位置づけが理解できる ②今年度のこどもまつりの概要が理解できる	(予習)こどもまつりのシラバスを読む。 (復習)こどもまつりの概要を整理する	180	主体性 計画力 傾聴力
2週 /	【1年クラス別】 ・総務委員を選出する ・全員の役割分担を検討する 【クラス別活動縦割り】 ・役員紹介 ・テーマ案を検討する	演習	①担当する役割について理解できる。 ②テーマ検討時に主体的に参加できる。	(予習)こどもまつりで担当したい役割を考える (復習)こどもまつりで担当する役割を整理する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
3週 /	【全体会】 ・基本計画案決定・テーマ選定・パンフレットのイラスト募集を行う。 【企画別活動】 ・遊びの分類や配置図の説明を受ける。 ・内容・企画別実施計画案の検討する	演習	①テーマ選定に主体的に参加できる ②配置された教室の配置するルールが理解でき、1年に説明ができる。 ③実施計画案の検討をする際、1年を取り込んで参加できる。	(予習) 候補に挙げたテーマを確認する (復習) パンフレットのイラストを作成する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
4週 /	【全体会】 ・正式テーマを発表する。 ・制作の注意点を確認する。 【企画別活動】 ・内容・企画別実施計画案の検討をする。他企画との調整を行い、提出する	演習	①正式テーマが理解できる。 ②実施計画案の検討する際、1年と協働して行える。	(予習) 3週で作成した実施計画案を確認する。 (復習) 作成した実施計画案を確認する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
5週 /	【企画別活動】 ・準備作業計画(計画図・年間スケジュール)作成 ・購入物詳細を検討する	演習	①こどもまつり当日までに担当する企画の計画立案し、1年に説明ができる ②担当する企画の必要物品が理解でき、1年に説明ができる。	(復習) 担当する企画の計画と必要物品を確認する。	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
6週 /	【企画別活動】 ・準備作業を行う	演習	作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所が把握した上で、1年に指示ができる	(予習) 企画別活動に必要な物品を用意する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
7週 /	【企画別活動】 ・準備作業を行う	演習	作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所が把握した上で、1年に指示ができる	(予習) 企画別活動に必要な物品を用意する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力
8週 /	【企画別活動】 ・準備作業を行う。 ・導入及び表現企画の中間発表	演習 中間発表後にフィードバックを行う。	①作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所が把握できる1年に指示ができる ②中間発表の良かったところ、改善が必要なところを挙げ、計画を再考できる。	(予習) ①企画別活動に必要な物品を用意する ②中間発表のための準備をする。 (復習) ①中間発表の良かったところ、改善が必要なところを挙げる	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /	【企画別活動】 ・準備作業を行う	演習	作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所が把握した上で、1年に指示ができる	(予習) 企画別活動に必要な物品を用意する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力
10週 /	【全体会】 ・こどもまつりの前日・当日の流れについて、説明する。 【企画別活動】 ・準備作業を行う。	演習	①前日・当日の流れを把握した上で、当日・前日の動きがを考えることができる ②作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所がを把握した上で、1年に指示ができる	(予習) 企画別活動に必要な物品を用意する (復習) こどもまつりの前日・当日の流れを確認する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力
11週 /	【全体】 ・リハーサル(総練習)を行う	演習	①リハーサルの良かったところ、改善が必要なところを挙げる ②担当する活動以外の企画について、理解できる	(復習) ①リハーサルの良かったところ、改善が必要なところを挙げる	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力
12週 /	【企画別活動】 ・準備作業を行う	演習	作業の状況を踏まえた上で、できている箇所、できていない箇所が把握できる	(予習) 企画別活動に必要な物品を用意する	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力
13週 /	こどもまつりの前日準備を行う	演習	①当日、子どもに遊びを提供できるようになる ②1年生に当日の動きを確認し、支持することができる	(予習) 前日の流れを確認する。	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力
14週 /	こどもまつりの当日の運営を行う	演習	①こどもまつりに来場された子どもに遊びを提供することができる ②担当する役割を主体的に遂行できる	(予習) 当日の動きを確認する。 (復習) 当日の動きを振り返る。	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力 状況把握力
15週 /	【企画別活動・全体会】 ・企画ごとに振り返りを行う ・レポートを作成する	演習	①こどもまつりの活動を通して、良かったところや反省すべき点を挙げる。 ②理想の保育者像に向けて、今後の課題をあげることができる	(予習) こどもまつりの活動を振り返っておく。	180	主体性 計画力 傾聴力 発信力 課題発見力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力